

第6期 事業計画

2014年9月1日～2015年8月31日

公益社団法人
日本サードセクター経営者協会

I 基本方針

1. 事業に関する方針

政府・行政(第一セクター)や企業(第二セクター)に比べて力量が乏しく分断されていたサードセクター組織が連携・協力し社会的存在感が小さかった日本のサードセクターの形成を目指します。ビジョンと活力あふれるサードセクターが加わることで、三つのセクターがそれぞれ適切な役割を果たす多元的な社会の実現することを目指します。設立時の理念の確かさを自覚し、下記に焦点を当て、事業を展開していきます。

- ・ 経営者の孤軍奮闘状況とセクター内部の縦割り構造の解消
- ・ 個々の非営利組織に求められている、自律的で成果を追求した経営力の向上
- ・ 公共サービス改革へのセクターとしての方針の表明と対応

立ち上がった東北の起業家の創業初期における継続的サポート

日本サードセクター経営者協会(以下、JACEVO)では、2011年3月の東日本大震災発生以降、自らつらい体験をしながらも、生まれ育った地域や住民のために立ち上がった起業家を後押ししていきました。これまで71名の起業家を生み出し、現在も継続してサポートしています。被災地、特に沿岸部では、震災前からの地方における課題として、高齢化、過疎化の課題を抱えており、震災復興という課題だけを捉えるのではなく、震災前からの地域の課題をも捉えたうえで、地域全体としての未来を描いていく必要があります。そのためには、地道な活動が求められます。JACEVOとして被災地の起業家に寄り添いながら、息の長いサポートをしていきます。

女性が地域や社会で活躍するための就労・起業サポート

日本では、女性が地域や社会で活躍するための条件が十分ではありません。「男性は仕事、女性は家庭」という風潮は薄まりつつあるものの、女性が自らの能力を向上させようという気持ちの問題や、いざ働こうとしても子育てとの両立ができる社会的環境が整っていないなど、たくさんの課題があります。JACEVOでは、女性が地域や社会で活躍できるようになることで、女性ならではの視点で新たな商品やサービスを生み出し、より人々の暮らしを豊かにしていくことができると考えます。そのため、積極的に、女性の就労や起業のサポートを行っていきます。

公共サービス改革とその担い手としてのサードセクターについての提言

政府・行政による公共サービスの民間開放が進んでいます。しかしながら、制度や規制により、参入の入り口の段階で、公共サービスの担い手が限定されるケースも多いのが現状です。公共サービスは、最も有効で効率的にサービスを提供できる主体が担

い手となるべきであり、参入段階で規制すべきではありません。参入規制の緩和と対等な競争により、サードセクターがその良さを発揮し、公共サービスの担い手となっていく後押しをしていきます。

2. 運営に関する方針

東京事務局と東北から九州まで全国の連携先とのネットワークを活かしながら、日本全国でのサービス展開を図り、JACEVO の理念実現に向けて活動していきます。

II 事業計画

1. つなぐ事業

(1) 入会促進活動の実施

全国での活動を通じて、またその活動の成果を視覚化し、JACEVO としての魅力を高め、会員の輪を広げていきます。

期間: 通年

活動目標: 200 名 (現状は 167 名)

(2) 年次大会の実施

サードセクターを取り巻く環境の変化とその形成への躍動のために、会員のみならず広くサードセクターの経営者、関係者に対し、経営に関する先進的な成功事例とタイムリーな話題を踏まえたゲストスピーカーを国内外より招き、学びと意見交換と新たなつながりの機会を提供していきます。

期間: 年 1 回

活動目標: 参加者 100 名程度

(3) 部会活動の促進

会員同士の自発的な動きにより部会開催(テーマ別・地域別)を促していきます。とくに、これまでに JACEVO が起業支援をした全国の起業家が交流を通じて切磋琢磨できる場を提供していきます。

期間: 通年

活動目標: 5 つ以上の活動

(4) facebook、メルマガによる発信

多忙な経営者同士をつなぐために、互いの情報や、経営課題を意見交換できる機会を設けていきます。会員のみならず、サードセクターの形成、政府・行政セクターとサードセクターとの関係のあり方に関心をもつ専門家、研究者、政府・行政関係者、企業に対しても、サードセクター組織の活動紹介や経営者の紹介、サードセクターの経営に関する情報、政府・行政への提言活動や制度や法律の改正などについて、タムリィーに情報を発信していきます。

期間: 通年

(5) HP の運営

JACEVO設立の趣旨と活動の本旨を伝えるためのHPの充実を図ります。またサードセクター組織の経営者の活動、その成果を動画を含めて発信していきます。

期間: 通年

2. 伸ばす事業

(1) サードセクター組織へのコンサルティング

個々のサードセクター組織の経営力強化のため、JACEVOおよびJACEVO認定コンサルタントによる、フロントライン組織への個別コンサルティングを実施します。

期間: 通年

活動目標: 50 団体へのコンサルティング

(2) サードセクター組織コンサルタント養成

個別組織に対しておこなうコンサルティングサービスはサードセクター組織の力量形成に不可欠であり、JACEVOとしてのコンサルタントの力量水準を確立させていきます。

期間: 後半

活動目標: JACEVO認定コンサルタント 10 名輩出

(3) 自主セミナーの開催

サードセクター組織の経営者が直面する課題を中心に捉えたセミナーを開催します。主な想定としては、公共サービス改革における契約改革、サードセクター組織の人材問題、労働問題などを考えています。

期間: 主に後半

活動目標: 参加者 50 名程度

(4) 講師派遣事業

サードセクター組織の経営、政府・行政とサードセクターの関係、サードセクターの法律、制度の関係などについて、政府・行政、企業、サードセクターに対し講師を派遣します。

期間: 通年

活動目標: 年間 5 回

(5) 女性の力が生きる社会となるための女性起業家支援事業(平成 26 年年賀寄附金)

結婚・出産を機に退職をした女性が、自分に合った働き方で、結婚・出産の経験を活かして、地域で必要とされる新たなサービスを創出するための起業支援及び就労支援を行います。

期間: 2014 年 5 月～2015 年 3 月

活動目標: 就労コース参加者 40 名、起業コース参加者 20 名

(6) 地域創業促進支援事業(中小企業庁)

全国 7 か所(福島市、吉川市、杉戸町、渋谷区、調布市、高松市、熊本市)において、創業希望者に対し、創業セミナーの開催及び創業に必要な財務・税務等の基本知識の習得やビジネスプランの作成支援を行う創業スクール(ベーシックコース、女性起業家コース)を開催する。

期間: 2014 年 7 月～2014 年 12 月

活動目標: 創業セミナー参加者 60 名×7 か所

創業スクール(ベーシックコース)参加者 30 名×7 か所

創業スクール(女性起業家コース)参加者 30 名×7 か所

3. 提言する事業

(1) 非営利組織の会計基準研究会の開催

分断されたサードセクター組織に対し、社会的信頼性を向上させるためにも法人形態別ではなく、統一的な会計基準の必要性を唱え、その検討を進めていきます。

期間: 通年

活動目標: 成果取りまとめ

(2) 公共サービス改革に向けての提言

公共サービス部会にて、自治体の公共サービス改革の取組みを調べ、サードセクター組織を含めた広範な主体が対等な競争のもとで、公共サービスの担い手となりうる環境整備について提言していきます。政府・行政とサードセクターとの関係の在り方、サードセクター組織のよさが発揮できる事業委託等の在り方、フルコストの把握と回収などについて提言していきます。

期間: 通年

活動目標: 政府・行政への提言

(3) サードセクター組織の支援の在り方に関する提言

サードセクター組織の力量拡大のために、営利組織と非営利組織が切磋琢磨し、優れた事業が展開できることを目指していきます。サードセクター組織を地域における雇用・サービスを生むイノベーションの主体として捉え、その活力溢れる活動によって社会貢献性と事業性のリターンを産み出し、地域の課題解決と地域経済の活性化の中心となるように、社会的に存在感のある組織を目指します。そのために、現在の中小企業に対する支援を営利・非営利問わず支援するように政府・行政に対し提言していきます。

期間: 通年

活動目標: 政府・行政への提言